

SBL-01

BRUSHLESS MOTOR SYSTEM

取扱説明書

このたびは、SANWA ブラシレスモーターシステム(SBL-01スピードコントローラー、SBL-3700モーター)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品を安全にご使用いただくために、取扱いに関する手順、注意事項について説明しています。本製品の性能を充分発揮させるために、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しくお取扱いいただくようお願い申し上げます。なお本書はお読みになった後も、いつでも読めるように大切に保管してください。



注意 安全に使用していただくための注意事項

- 本製品はSANWAプロボ専用です。他社製品でのご使用は、メーカーによって仕様が異なるため本製品の故障の原因となりますので使用しないでください。
- 本製品のコネクタにバッテリーやモーターを接続する際は、接触不良にならないよう確実に接続してください。
- 本製品は電子部品を搭載しており、大変水に弱いため、雨天時や水たまりのある場所では、絶対に走行しないでください。
- 連続走行やバッテリーコネクタの劣化によりバッテリーコネクタが熱で抜けなくなったり溶けたりする場合があります。そのような症状がある場合はバッテリーコネクタを新しい物と交換し、車体の駆動系がスムーズに回転するように整備をおこなってください。それでも症状が再発するようであれば、お近くのサービスにお問い合わせください。
- 走行後は必ず走行用バッテリーのコネクタをはずして保管してください。

テクニカルデータ

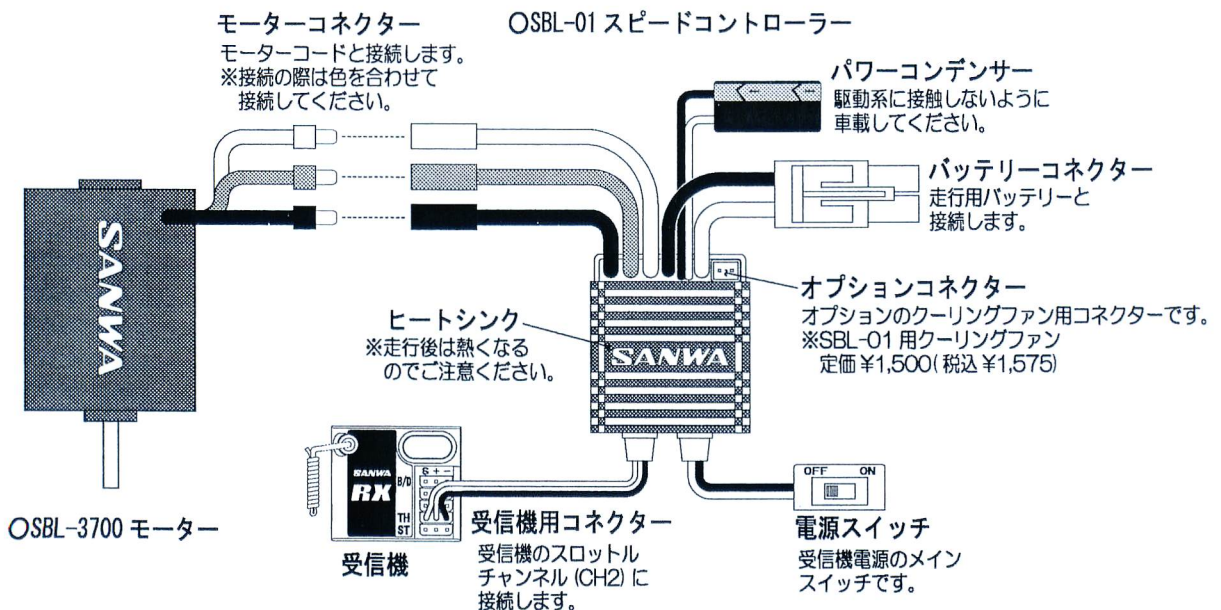
SBL-01 スピードコントローラー

- 使用電源 Ni-CD / Ni-MH 4.8~7.2V
- 連続最大電流 30A
- 瞬間最大電流 50A
- 寸法 37.5x32.0x18.8mm
- 重量 52g
- 対応モーター KV3700以下
- コネクタ Zコネクタ仕様

SBL-3700 ブラシレスモーター

- モータータイプ インナーロータータイプ
- センサー センサーレス
- サイズ 540モーターサイズ
- シャフト径 φ3.17
- 入力電圧 4.8~7.2V
- KV値 3,700RPM/V
- 重量 149g

各部の名称と接続方法



使用方法

スピードコントローラーの動作確認をおこなう前に、送信機スロットルチャンネルのリバーススイッチの設定は必ずノーマルに設定してください。ボリューム式のエンドポイントアジャスト機能が有る送信機の場合はスロットルのハイ側、ロー側のエンドポイントアジャストの設定は最大にしてください。コンピュータープロポの場合はスロットルのハイ側、ロー側のエンドポイントアジャストの設定値を100%に設定してください。なお、ブレーキの効きに関してスロットルエンドポイントアジャストのロー側の設定値を調整してください。SBL-01スピードコントローラーの電源スイッチをONにする前に、送信機のスロットルトリムをセンターに合わせてください。また、RCカーのタイヤが回転しても安全なよう台に乗せるなどしてタイヤを浮かせてください。

- 電源スイッチをONにします。必ず送信機→スピードコントローラーの順序でおこなってください。スピードコントローラーのスイッチをONにすると、モーターから「ピロリッ」と電源ONの確認音がします。続いてスピードコントローラーが送信機のニュートラル位置を検知して「ピロピロ」とニュートラル確認音がして、設定が完了します。
- スピードコントローラーのスイッチをONにした時に、送信機のニュートラル位置が大幅にずれている場合には、スピードコントローラーがニュートラル位置を検知できず、正常にモーターコントロールできない状態になります。その場合はニュートラル確認音がするまでスロットルトリムを調整してください。
- ※スピードコントローラーのスイッチをONしてから、電源ONの確認音、ニュートラル確認音がするまで送信機を絶対に操作しないでください。正しく設定できず、モーターコントロールができなくなります。ニュートラル位置の検知はスピードコントローラーの電源を入れるたびにおこなっていますのでご注意ください。
- ※スロットルトリガー(スティック)を前進側に操作してもタイヤが逆転してしまう場合はスピードコントローラーとモーターの配線が同じ色で接続されているか確認してください。また、モーター出力の設定は、前進側よりも後進側のモーター出力を抑えた設定となっています。走らせた時に後進よりも前進のスピードが遅い場合には、送信機リバーススイッチの設定を確認してください。
- ブレーキと後進(バック)の操作方法
前進走行中にスロットルトリガー(スティック)を後進側に操作すると、操作に比例してブレーキが効きます。
※送信機にエンドポイントアジャスト機能がある場合はブレーキの効きをEPA-Lの設定値で調整することができます。後進(バック)のスピード調整はブレーキ操作のあとスロットルトリガー(スティック)をニュートラルの位置に戻して再度、後進側に操作することにより調整できます。
※後進のスピードもスロットル-エンドポイントアジャスト(EPA-L)の設定値に比例します。
- ヒートプロテクター機能
過負荷等によりスピードコントローラーのFETが異常発熱すると、モーターの出力を停止します。FETの温度が下がると自動的に復帰します。

故障かな？と思ったら

症 状	
動かない。 (走行前でヒートシンクが熱くない場合)	<ul style="list-style-type: none"> ●送信機に乾電池が正しく入っているか確認してください。 ●送信機の電池残量が十分にあるか確認してください。 ●送信機、スピードコントローラーの電源スイッチがONになっているか確認してください。 ●送信機、受信機にクリスタルが正しく入っているか確認してください。 ●送信機、受信機のBINDが正しくおこなわれているか確認してください。 ●コネクタがはずれしていないか接続を確認してください。 ●走行用バッテリーが充電されているか確認してください。 ●モーターに異常がないか確認してください。
ニュートラルで モーターの回転が止まらない。	●送信機のスロットルトリムが電源ONの時よりズレていないか確認してください。
スピードが遅い。	<ul style="list-style-type: none"> ●走行用バッテリーが満充電になっているか点検してください。 ●劣化した走行用バッテリーを使用していませんか？→新しい走行用バッテリーに交換して確認してください。
前・後進が操作と反対に動く。	<ul style="list-style-type: none"> ●送信機のスロットル側リバーススイッチがノーマルにセットされているか確認してください。 ●スピードコントローラーとモーターのコネクタの色を間違えて接続していないか確認してください。
走行中(または走行後) 動かなくなった。 (ヒートシンクが異常に 発熱している場合)	<ul style="list-style-type: none"> ●モーター、バッテリー、コネクタなどを確認してください。 ●上記に異常がない場合は、ヒートプロテクターが働いています。 <ol style="list-style-type: none"> 1. モーター不良による発熱→モーターをチェックしてください。 2. 車体の駆動系(ギヤ、ベアリング等)が軽く回転するか確認してください。 3. スピードコントローラーのヒートシンクが冷却されているか確認してください。 4. ギヤ比の設定が適切か確認してください。

サンワサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを！

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。オーバーホールや修理に出される場合は、故障状況を詳しくご記入の上、お近くのサービスへ修理依頼してください。

また、ご購入・お問い合わせ等はお近くのサービスにて受付けております。
電話でのお問い合わせは土曜、日曜、祝祭日を除く
AM9:30~12:00、PM1:00~5:00です。

- 予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- 2008年6月 第1版



三和電子機器株式会社

本 社/東大阪市吉田本町1丁目2-50 〒578-0982 Ⅸ072 (964) 2531
 東京営業所/東京都台東区浅草橋3-18-1 (KKKビル) 〒111-0053 Ⅸ03 (3862) 8857
 <本社サービス> 東大阪市吉田本町1-2-50
 〒578-0982 Ⅸ072 (962) 2180
 <東京サービス> 東京都台東区浅草橋3-18-1 (KKKビル)
 〒111-0053 Ⅸ03 (3862) 8858